

補助事業番号 28-95
補助事業名 平成28年度 水資源の有効活用のための研究開発等 補助事業
補助事業者名 一般財団法人造水促進センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

水資源の有効利用により環境負荷の軽減と循環型経済社会の促進を図るため、水質汚濁防止や海水の淡水化等造水・排水処理技術に関する先端技術の開発及び実用化事業を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

(<http://www.wrpc.jp/center/cen05.htm>)

①水の効率運用に係る新しい評価指標調査

(<http://www.wrpc.jp/center/img/jitennsha28.pdf>)

本調査は、技術革新の進展や産業構造の変化や新たな水使用合理化の概念など、工場や社会で使用される水を取りまく情勢の変化を踏まえ、水の効率運用のための用水使用合理化の可能性とその方策を検討する際に参考となる基礎資料を整備することを目的とし、水の効率運用に係る新しい評価指標の提案を行うべく実施した。

本年度は、工場をはじめ広く社会における水使用、用水処理や排水処理ならびに水使用合理化方策に大きく影響すると考えられる新たな水使用上の概念とその適用について文献等により調査を実施し、整理してとりまとめを行った。そのうち有用性が高いと判断された概念に基づく具体的適用例について、数値的試算検討を行った。そこから得られた結果を基に、適正な水の効率運用のための評価指標としての方向性を示した。



適用例試算検討対象とした海水淡水化施設概観(沖縄県)



研究機関遠景

②ラオスからの技術者等招聘

(<http://www.wrpc.jp/center/img/jitennsha28.pdf>)

ラオス公共事業運輸省へ、本事業の目的と実施内容等について連絡し、人選をお願いした。同省から、Phouthsom Intavong氏(都市インフラ開発セクションのDeputy Director)を派遣したいとの返事があり、財団内での検討を経て同氏を招聘した。

技術者の滞在中、日本の排水処理技術を紹介するとともに、より理解を深めていただくた

めに排水処理設備を視察した。紹介する技術については、ラオス側の要望を踏まえて決めた。また、ラオスの水環境状況等に関する発表会を企画し、Webにて広く参加者を募集して、ラオスの情報を企業と共有する場を設けた。さらに、今後の協力の在り方、日本の排水処理技術のラオスでの活用などについて議論を行った。



ラオスの水環境状況及び
日本の排水処理技術の紹介



神戸市東灘下水処理場視察

2 予想される事業実施効果

①水の効率運用に係る新しい評価指標調査

環境の側面からみれば、水使用合理化は新たに水源を創出することと同義であると捉えることができ、その持つ意味合いは従来とは自ずと異なり、とくに世界を対象とする場合、水リスクの大きな地域にとってその重要性は格段に増すこととなる。そのような観点で、工場や地域における水使用合理化/水の効率運用の取り組みが適正かつ端的に評価されるシステムが確立されれば、我が国の水使用合理化の取り組みは世界に誇れる優れた取り組みとして認識を新たにすることができるものと考えられる。

これを踏まえた本調査事業の取り組みは、産業全体の水使用適正化のみならず、グローバルな展開においても産業自体の発展に寄与し、また新たな水処理・環境関連装置の開発を促す可能性を秘めている。そのためにも、水使用に係る日本の先進性を高め、また広くピーアールしていくことのできる指標の創出が重要となるものと考えられる。

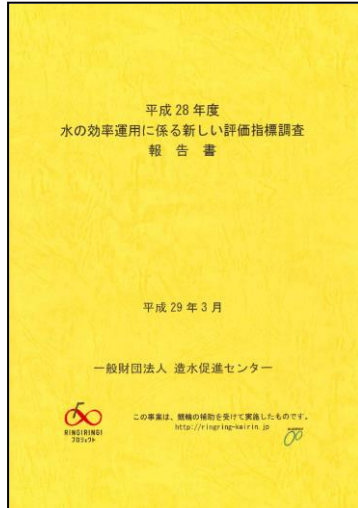
②ラオスからの技術者等招聘

招聘した技術者は、ラオスにおいて水環境改善に中心的役割を担う公共事業・運輸省の担当者であり、日本の排水処理技術が検討され、採用されることが期待される。招聘した技術者から、紹介した技術は、ラオスに必要なものであり、導入したいがコストの問題があり直ぐに導入することは難しい。しかしながら、環境保全を考えれば将来的には導入したい技術であるとのコメントがあった。今後も連携を密にし、日本の水処理技術の普及、促進につなげたい。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

①平成28年度水の効率運用に係る新しい評価指標調査報告書



平成28年度 水の効率運用に係る新しい評価指標調査 報告書	
目 次	
目次	頁
1. 調査目的	1
2. 調査事項	1
3. 調査結果と考察	2
3.1 工業用水の使用状況	2
3.2 水の効率運用の現状と課題(次年度調査結果)	6
3.3 水の効率運用促進法の検討結果	21
3.3.1 ウォーターフロントの概念	21
3.3.2 調査対象の概要	23
3.3.3 企業の実績調査	47
3.3.4 調査結果の考察	52
3.4 今後の取組の検討	58
4. まとめと今後の課題	60
4.1 今後の調査の方向性	60
4.2 企業実態の把握と今後の課題	60
4.3 今後の取組	62
引用 参考文献	63
付録(調査対象の企業と水使用の調査結果公表と調査結果公表)	65

②平成28年度ラオスからの技術者等招聘報告書



内 容	
1. はじめに	1
2. 日本の方との適合性等	1
3. 招聘した技術者	2
4. 招聘中の日程	2
5. ラオスの水環境状況と日本の技術紹介	3
5.1 ラオスの水環境状況等	3
5.2 調査による日本の技術紹介	13
5.3 招聘作業下地整備の概要	16
5.4 東京都区水再生センター視察	23
6. ラオスの日本の技術の活用、ラオスの現状等についてのディスカッション	24
7. おわりに	26
8. 招聘した技術者の自傳	28
8.1 自傳事項	28
8.2 飲水状況	27
8.3 一般工場の排水処理	10
8.4 排水処理	11
8.5 排水処理の現状	15
8.6 排水処理の現状	17
8.7 排水処理の現状	21
8.8 排水処理の現状	21
9. 招聘した技術者の活用状況	28
9.1 招聘した技術者の活用状況	28
9.2 招聘した技術者の活用状況	28
9.3 招聘した技術者の活用状況	28
9.4 招聘した技術者の活用状況	28

9.5 招聘した技術者の活用状況	28
9.6 招聘した技術者の活用状況	28
9.7 招聘した技術者の活用状況	28
9.8 招聘した技術者の活用状況	28
9.9 招聘した技術者の活用状況	28
9.10 招聘した技術者の活用状況	28
9.11 招聘した技術者の活用状況	28
9.12 招聘した技術者の活用状況	28
9.13 招聘した技術者の活用状況	28
9.14 招聘した技術者の活用状況	28
9.15 招聘した技術者の活用状況	28
9.16 招聘した技術者の活用状況	28
9.17 招聘した技術者の活用状況	28
9.18 招聘した技術者の活用状況	28
9.19 招聘した技術者の活用状況	28
9.20 招聘した技術者の活用状況	28
9.21 招聘した技術者の活用状況	28
9.22 招聘した技術者の活用状況	28
9.23 招聘した技術者の活用状況	28
9.24 招聘した技術者の活用状況	28
9.25 招聘した技術者の活用状況	28
9.26 招聘した技術者の活用状況	28
9.27 招聘した技術者の活用状況	28
9.28 招聘した技術者の活用状況	28
9.29 招聘した技術者の活用状況	28
9.30 招聘した技術者の活用状況	28
9.31 招聘した技術者の活用状況	28
9.32 招聘した技術者の活用状況	28
9.33 招聘した技術者の活用状況	28
9.34 招聘した技術者の活用状況	28
9.35 招聘した技術者の活用状況	28
9.36 招聘した技術者の活用状況	28
9.37 招聘した技術者の活用状況	28
9.38 招聘した技術者の活用状況	28
9.39 招聘した技術者の活用状況	28
9.40 招聘した技術者の活用状況	28
9.41 招聘した技術者の活用状況	28
9.42 招聘した技術者の活用状況	28
9.43 招聘した技術者の活用状況	28
9.44 招聘した技術者の活用状況	28
9.45 招聘した技術者の活用状況	28
9.46 招聘した技術者の活用状況	28
9.47 招聘した技術者の活用状況	28
9.48 招聘した技術者の活用状況	28
9.49 招聘した技術者の活用状況	28
9.50 招聘した技術者の活用状況	28
9.51 招聘した技術者の活用状況	28
9.52 招聘した技術者の活用状況	28
9.53 招聘した技術者の活用状況	28
9.54 招聘した技術者の活用状況	28
9.55 招聘した技術者の活用状況	28
9.56 招聘した技術者の活用状況	28
9.57 招聘した技術者の活用状況	28
9.58 招聘した技術者の活用状況	28
9.59 招聘した技術者の活用状況	28
9.60 招聘した技術者の活用状況	28
9.61 招聘した技術者の活用状況	28
9.62 招聘した技術者の活用状況	28
9.63 招聘した技術者の活用状況	28
9.64 招聘した技術者の活用状況	28
9.65 招聘した技術者の活用状況	28
9.66 招聘した技術者の活用状況	28
9.67 招聘した技術者の活用状況	28
9.68 招聘した技術者の活用状況	28
9.69 招聘した技術者の活用状況	28
9.70 招聘した技術者の活用状況	28
9.71 招聘した技術者の活用状況	28
9.72 招聘した技術者の活用状況	28
9.73 招聘した技術者の活用状況	28
9.74 招聘した技術者の活用状況	28
9.75 招聘した技術者の活用状況	28
9.76 招聘した技術者の活用状況	28
9.77 招聘した技術者の活用状況	28
9.78 招聘した技術者の活用状況	28
9.79 招聘した技術者の活用状況	28
9.80 招聘した技術者の活用状況	28
9.81 招聘した技術者の活用状況	28
9.82 招聘した技術者の活用状況	28
9.83 招聘した技術者の活用状況	28
9.84 招聘した技術者の活用状況	28
9.85 招聘した技術者の活用状況	28
9.86 招聘した技術者の活用状況	28
9.87 招聘した技術者の活用状況	28
9.88 招聘した技術者の活用状況	28
9.89 招聘した技術者の活用状況	28
9.90 招聘した技術者の活用状況	28
9.91 招聘した技術者の活用状況	28
9.92 招聘した技術者の活用状況	28
9.93 招聘した技術者の活用状況	28
9.94 招聘した技術者の活用状況	28
9.95 招聘した技術者の活用状況	28
9.96 招聘した技術者の活用状況	28
9.97 招聘した技術者の活用状況	28
9.98 招聘した技術者の活用状況	28
9.99 招聘した技術者の活用状況	28
9.100 招聘した技術者の活用状況	28

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの 特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 造水促進センター(ゾウスイソクシンセンター)

住所： 〒103-0003

東京都中央区日本橋横山町4番5号 福田ビル 4F

代表者： 理事長 山本 和夫(ヤマモト カズオ)

担当部署： 総務部(ソウムブ)

担当者名： 総務部長 中村 俊治(ナカムラ トシハル)

電話番号：03-5644-7565

F A X：03-5644-0686

E-mail：zosui@wrpc.jp

U R L：<http://www.wrpc.jp>